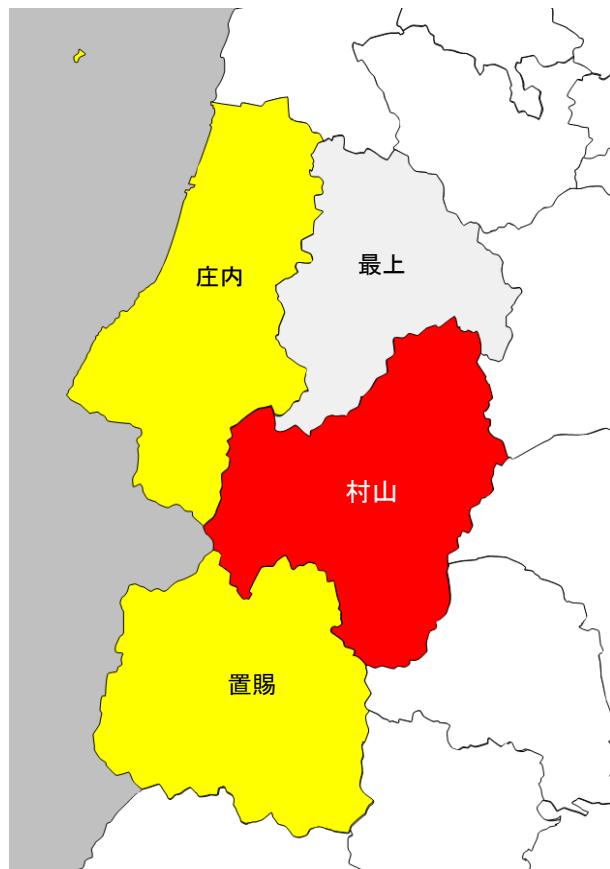


6. 山形県

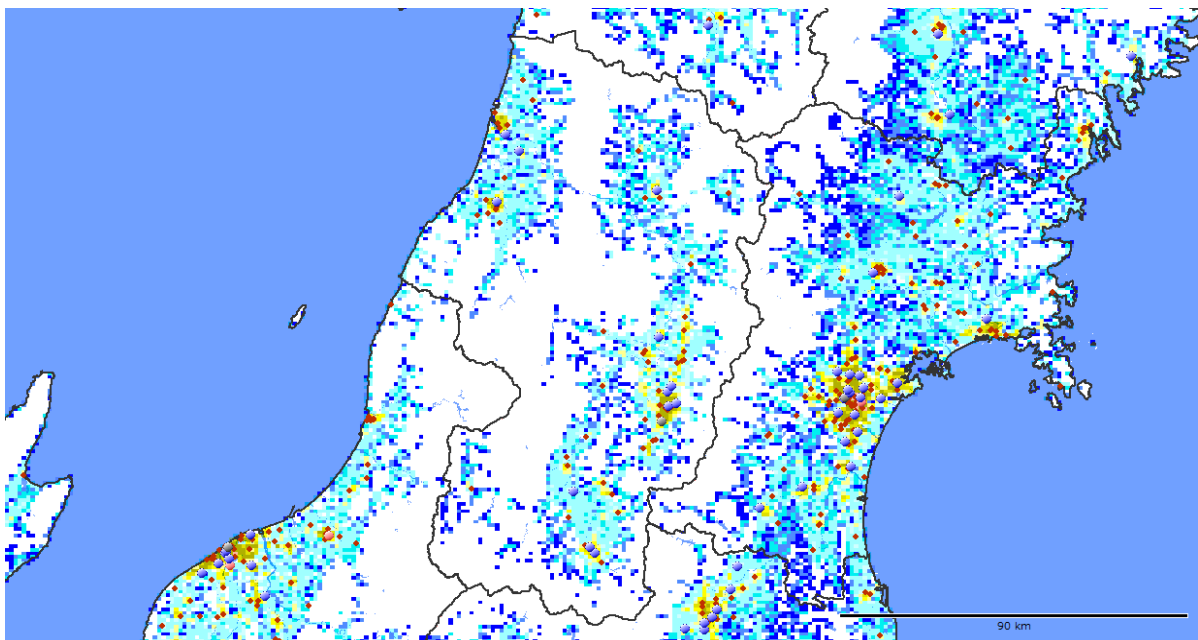


目次

山形県	6 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	6 - 8
1. 村山医療圏	6 - 20
2. 最上医療圏	6 - 25
3. 置賜医療圏	6 - 30
4. 庄内医療圏	6 - 35

6. 山形県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(山形県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 山形県は、総人口約1,124千人(2015年)、面積9,323km²、人口密度は121人/km²である。

***人口の将来予測：** 山形県の総人口は2025年に1,016千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に834千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の190千人が、2025年にかけて210千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には217千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 山形県の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値54)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 山形県の一人当たり急性期医療密度指数は1.27、一人当たり慢性期医療密度指数は0.71で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 山形県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,412人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が12,452床(偏差値53)、高齢者住宅等が4,960床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14,641人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム49、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,398人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

山形県の総人口は、2005年1,216,181人が、2015年に1,123,891人と8%減少し、2025年の人口が1,015,910人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

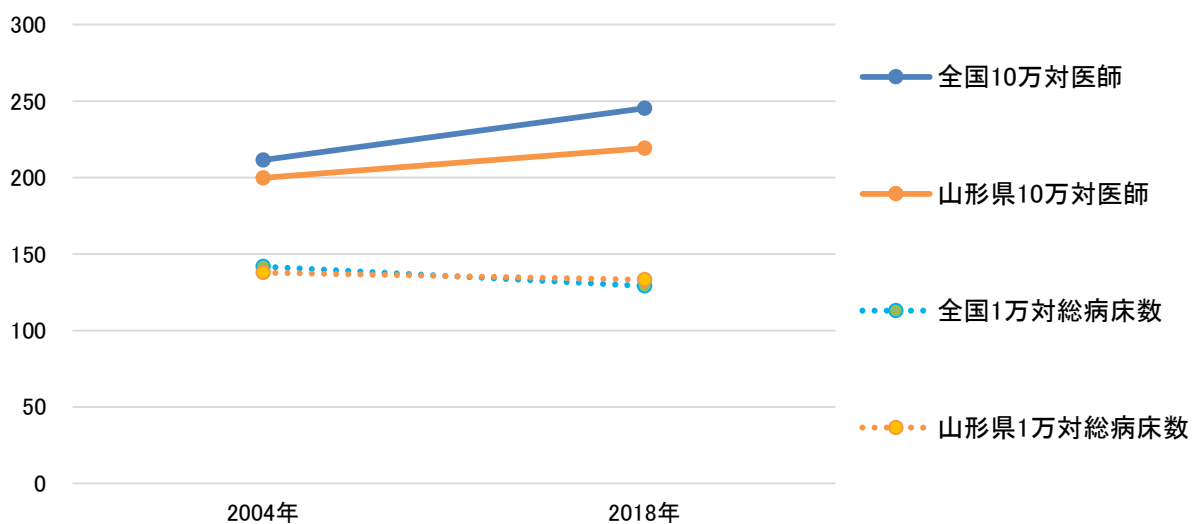
2004年の病院数が70(人口10万人当たり5.8病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に68(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が920(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に919(人口10万人当たり82診療所(全国平均80)偏差値51)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が16,768床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に14,989床(人口1万人当たり133(全国平均129)偏差値51)と、1,779床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,431人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に2,463人(人口10万人当たり219人(全国平均245人)偏差値47)と、32人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

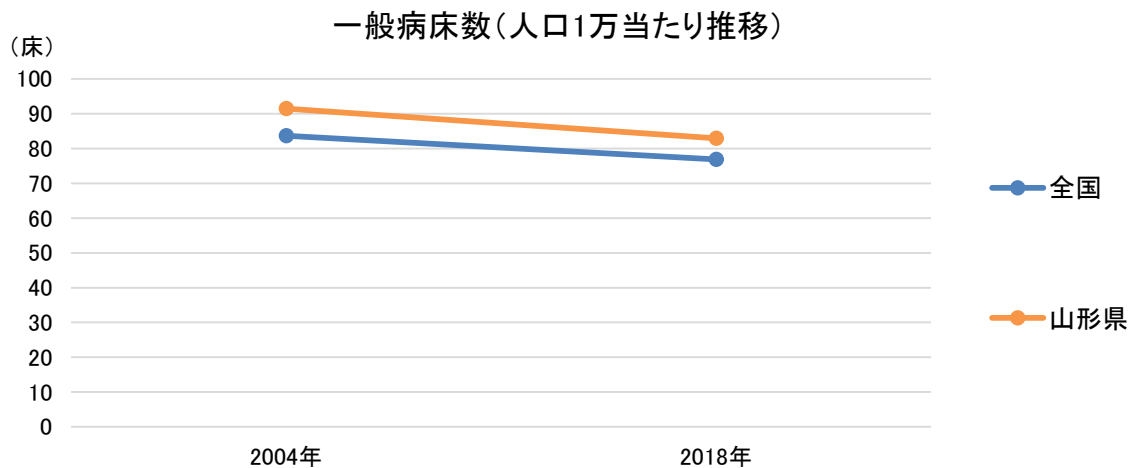
人口当たり医師数・総病床数の推移



6.山形県(2019年版)

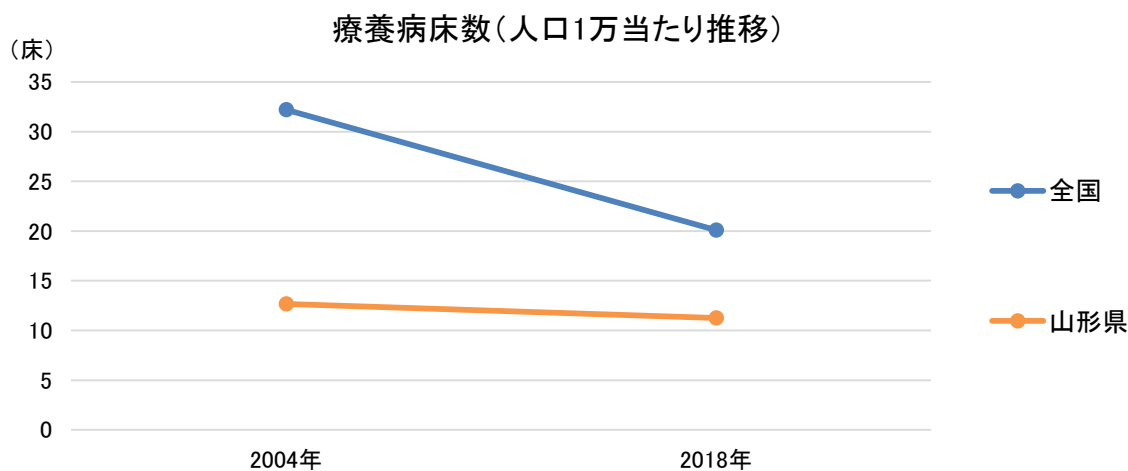
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11,124床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に9,320床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、1,804床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



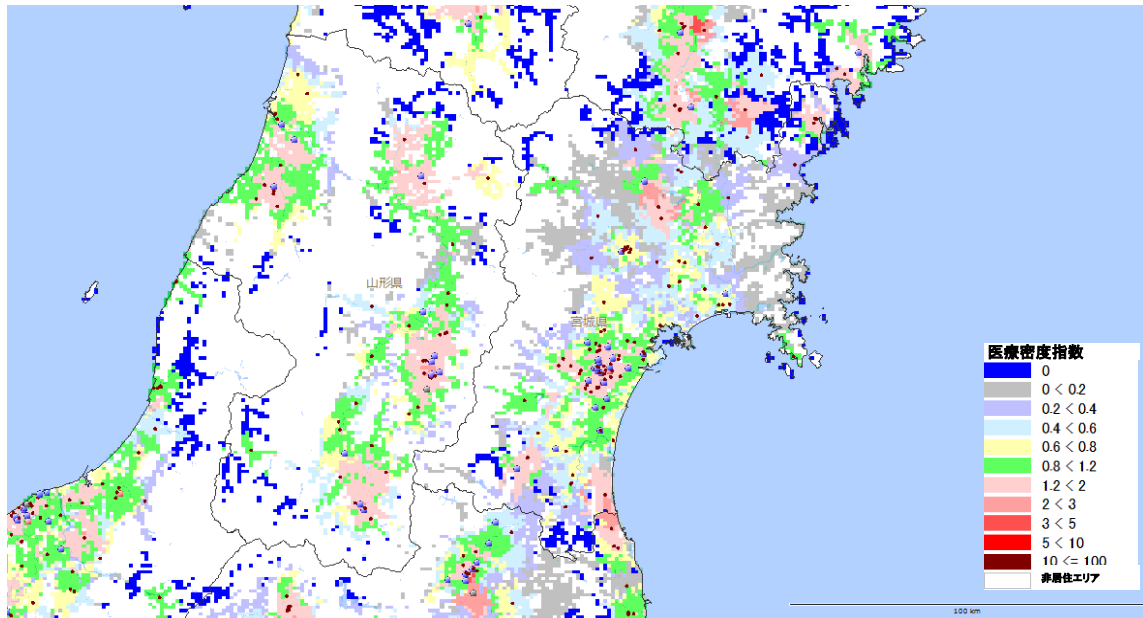
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,977床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に2,140床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、163床の増加、率にして8%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



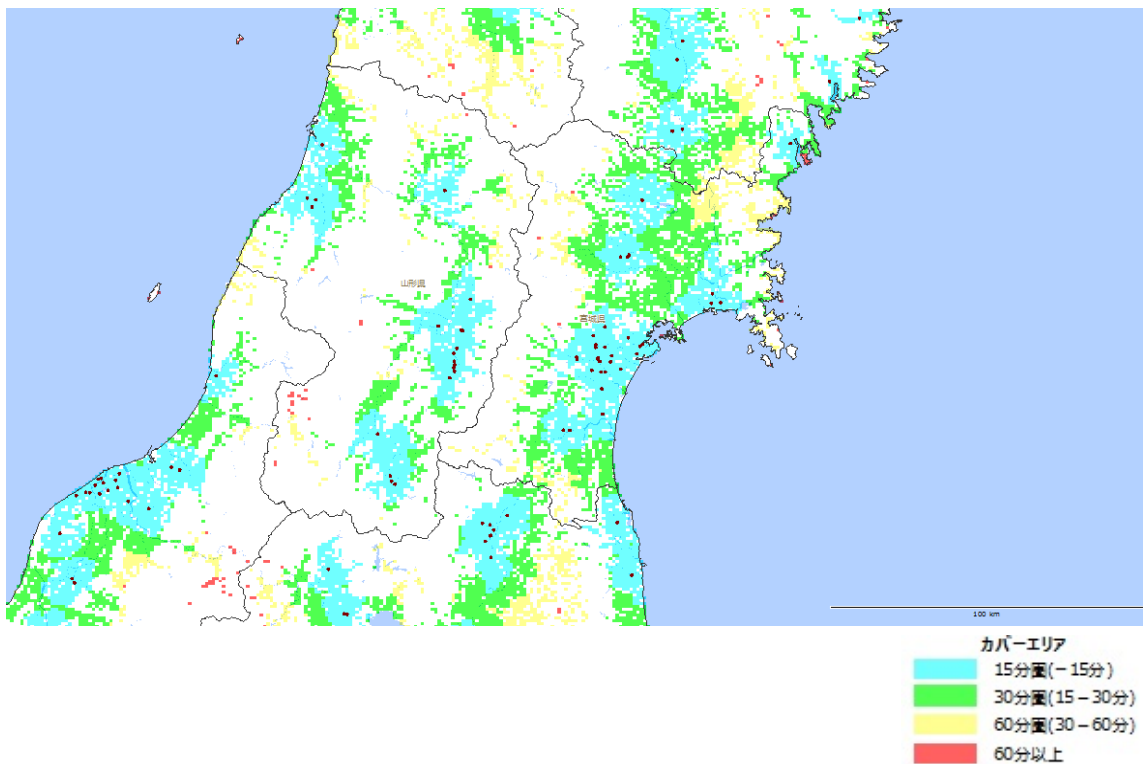
(山形県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表6-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 6-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
山形県	1,124	35位	9,323	9位	120.5		31%	1,016	834	190	210	217	-10%	-18%	11%	3%
村山	552	49%	2,619	28%	210.6	地方都市型	29%	517	447	88	103	111	-6%	-14%	17%	8%
最上	78	7%	1,803	19%	43.2	過疎地域型	33%	65	47	15	14	15	-17%	-28%	-7%	7%
置賜	215	19%	2,495	27%	86.2	地方都市型	31%	188	147	37	39	39	-13%	-22%	5%	0%
庄内	279	25%	2,405	26%	116.2	地方都市型	33%	245	192	50	54	53	-12%	-22%	8%	-2%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 6-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
山形県	1.27	0.71	16,078	16,828	-4.7%
村山	1.39	0.66	7,388	8,172	-10.6%
最上	1.23	0.55	1,498	1,192	20.4%
置賜	1.21	0.67	3,292	3,135	4.8%
庄内	1.10	0.87	3,900	4,328	-11.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 6-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
山形県	375	54	1.000	151	54	1.035	200	54	0.984	282	58
村山	382	56	1.013	154	55	1.041	203	56	0.994	264	53
最上	332	45	0.899	141	51	0.970	171	38	0.857	290	60
置賜	385	57	1.015	152	54	1.027	208	59	1.016	283	58
庄内	366	52	0.949	147	53	0.974	197	53	0.947	310	66
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 6-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
山形県	814	41	0.860	399	43	0.825	389	40	0.903
村山	847	43	0.891	418	45	0.860	398	42	0.923
最上	669	28	0.697	326	36	0.667	324	22	0.742
置賜	842	43	0.878	415	45	0.847	404	44	0.928
庄内	777	37	0.818	375	41	0.777	380	37	0.876
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 6-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
山形県	68	0.8%	6.1	49	919	0.9%	82	51
村山	33	49%	6.0	48	489	53%	89	54
最上	5	7%	6.4	50	51	6%	65	42
置賜	15	22%	7.0	51	151	16%	70	45
庄内	15	22%	5.4	47	228	25%	82	51
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

6.山形県(2019年版)

資_図表 6-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
山形県	919	0.9%	82	51	859	0.9%	76	51	60	0.9%	5.3	50
村山	489	53%	89	54	459	53%	83	54	30	50%	5.4	50
最上	51	6%	65	42	48	6%	62	43	3	5%	3.9	47
置賜	151	16%	70	45	141	16%	66	45	10	17%	4.7	49
庄内	228	25%	82	51	211	25%	75	50	17	28%	6.1	51
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 6-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
山形県	14,342	0.9%	1,276	51	647	0.7%	58	48	14,989	0.9%	1,334	51
村山	7,705	54%	1,397	54	326	50%	59	48	8,031	54%	1,456	53
最上	1,019	7%	1,308	52	44	7%	56	48	1,063	7%	1,365	51
置賜	2,472	17%	1,150	49	99	15%	46	47	2,571	17%	1,196	48
庄内	3,146	22%	1,126	48	178	28%	64	49	3,324	22%	1,189	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 6-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
山形県	8,756	1.0%	779	54	2,057	0.6%	183	47	3,481	1.1%	310	52
村山	4,604	53%	835	56	847	41%	154	45	2,216	64%	402	57
最上	745	9%	956	61	92	4%	118	43	180	5%	231	49
置賜	1,659	19%	772	53	374	18%	174	46	435	12%	202	47
庄内	1,748	20%	625	47	744	36%	266	51	650	19%	233	49
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 6-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
山形県	831	1.0%	74	52	787	1.0%	70	51
村山	363	44%	66	50	312	40%	57	49
最上	44	5%	56	48	40	5%	51	48
置賜	120	14%	56	48	279	35%	130	59
庄内	304	37%	109	60	156	20%	56	49
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 6-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
山形県	7,162	6,501	347	7,084	2,153	1,721	75.1%	62	16.8%	55
村山	3,601	3,485	72	4,047	1,081	786	76.3%	62	8.4%	51
最上	569	567	0	450	178	92	76.1%	62	0.0%	48
置賜	1,393	1,302	41	1,052	305	333	81.0%	64	11.0%	53
庄内	1,599	1,147	234	1,535	589	510	66.1%	58	31.5%	62
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 6-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
山形県	15,216	0.7%	1,354	45	8,580	0.9%	763	51
村山	9,252	61%	1,678	49	4,800	56%	870	55
最上	300	2%	385	33	468	5%	601	45
置賜	1,392	9%	648	37	1,260	15%	586	45
庄内	4,272	28%	1,528	47	2,052	24%	734	50
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 6-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
山形県	2,463	0.8%	219	47	1,622	0.8%	144	47	841	0.8%	75	47
村山	1,480	60%	268	53	1,021	63%	185	53	459	55%	83	51
最上	99	4%	127	37	61	4%	78	38	38	5%	49	36
置賜	372	15%	173	42	242	15%	113	43	130	15%	60	41
庄内	512	21%	183	43	298	18%	107	42	214	25%	77	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 6-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
山形県	211	0.7%	18.8	46	98	0.7%	8.7	45	91	0.8%	8.1	48
村山	137	65%	24.8	52	60	61%	10.9	50	59	65%	10.7	54
最上	9	4%	11.6	40	5	5%	6.4	41	3	3%	3.9	38
置賜	29	14%	13.5	42	14	14%	6.5	41	14	15%	6.5	44
庄内	36	17%	12.9	41	19	19%	6.8	41	15	16%	5.4	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 6-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
山形県	46	0.8%	4.1	48	85	0.9%	7.6	49	69	0.9%	6.1	51
村山	32	70%	5.8	56	58	68%	10.5	58	44	64%	8.0	57
最上	1	2%	1.3	36	2	2%	2.6	34	4	6%	5.1	47
置賜	4	9%	1.9	38	10	12%	4.7	40	9	13%	4.2	44
庄内	9	20%	3.2	44	15	18%	5.4	42	12	17%	4.3	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 6-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
山形県	82	0.8%	7.3	49	158	0.7%	14.1	45	168	1.0%	14.9	54
村山	54	66%	9.8	56	93	59%	16.9	49	105	63%	19.0	62
最上	0	0%	0	29	6	4%	7.7	36	7	4%	9.0	41
置賜	12	15%	5.6	44	28	18%	13.0	44	22	13%	10.2	43
庄内	16	20%	5.7	45	31	20%	11.1	41	34	20%	12.2	48
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 6-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
山形県	62	1.0%	5.5	53	59	0.8%	5.2	49	51	0.9%	4.5	50
村山	41	66%	7.4	62	38	64%	6.9	56	34	67%	6.2	55
最上	2	3%	2.6	39	2	3%	2.6	38	2	4%	2.6	43
置賜	8	13%	3.7	45	10	17%	4.7	47	6	12%	2.8	44
庄内	11	18%	3.9	46	9	15%	3.2	41	9	18%	3.2	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 6-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
山形県	49	0.7%	4.4	46	13	0.8%	1.2	48	26	0.6%	2.3	45
村山	32	65%	5.8	50	7	54%	1.3	50	16	62%	2.9	48
最上	1	2%	1.3	36	0	0%	0	37	0	0%	0	34
置賜	7	14%	3.3	42	2	15%	0.9	46	4	15%	1.9	43
庄内	9	18%	3.2	42	4	31%	1.4	51	6	23%	2.1	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

6.山形県(2019年版)

資_図表 6-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
山形県	12	0.5%	1.1	45	22	0.8%	2.0	49
村山	5	42%	0.9	43	14	64%	2.5	53
最上	1	8%	1.3	46	0	0%	0	35
置賜	2	17%	0.9	44	2	9%	0.9	41
庄内	4	33%	1.4	48	6	27%	2.1	50
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 6-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
山形県	11,007	1.0%	979	53	8,603	0.9%	766	52	2,403	1.1%	214	55
村山	5,898	54%	1,069	56	4,704	55%	853	55	1,195	50%	217	55
最上	619	6%	795	46	494	6%	634	46	125	5%	161	48
置賜	1,778	16%	827	47	1,368	16%	636	46	410	17%	191	52
庄内	2,711	25%	970	52	2,038	24%	729	50	673	28%	241	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 6-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
山形県	1,232	0.9%	110	50	2,109	0.7%	188	44
村山	614	50%	111	50	1,201	57%	218	47
最上	59	5%	76	44	104	5%	134	39
置賜	198	16%	92	47	343	16%	160	42
庄内	361	29%	129	53	461	22%	165	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 6-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
山形県	88	0.6%	0.5	40	9	0.6%	0.0	44	73	0.6%	0.4	36
村山	32	36%	0.4	38	2	22%	0.0	41	32	44%	0.4	35
最上	5	6%	0.3	38	0	0%	0	37	6	8%	0.4	37
置賜	19	22%	0.5	41	5	56%	0.1	56	15	21%	0.4	36
庄内	32	36%	0.6	44	2	22%	0.0	43	20	27%	0.4	36
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 6-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
山形県	17,412	1.0%	92	42	12,452	1.2%	66	53	4,960	0.7%	26	39
村山	8,118	47%	92	42	5,498	44%	62	51	2,620	53%	30	41
最上	1,557	9%	107	51	1,319	11%	91	74	238	5%	16	33
置賜	3,413	20%	92	42	2,502	20%	67	55	911	18%	24	38
庄内	4,324	25%	86	39	3,133	25%	62	51	1,191	24%	24	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 6-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
山形県	4,121	1.1%	22	49	8,273	1.4%	44	58	58	0.1%	0.3	42
村山	1,482	36%	17	40	4,016	49%	46	60	0	0%	0	42
最上	410	10%	28	59	909	11%	63	77	0	0%	0	42
置賜	1,037	25%	28	59	1,429	17%	38	53	36	62%	1.0	44
庄内	1,192	29%	24	52	1,919	23%	38	52	22	38%	0.4	43
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 6-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
山形県	1,152	0.5%	6.1	42	120	0.5%	0.6	46	2,298	1.1%	12.1	49
村山	819	71%	9.3	45	50	42%	0.6	46	1,002	44%	11.4	48
最上	70	6%	4.8	41	0	0%	0	43	72	3%	5.0	37
置賜	212	18%	5.7	42	20	17%	0.5	46	558	24%	15.0	54
庄内	51	4%	1.0	37	50	42%	1.0	48	666	29%	13.3	51
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 6-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
山形県	1,390	0.6%	7.3	40	56	0.2%	0.3	43	1,334	0.6%	7.0	41
村山	749	54%	8.5	41	19	34%	0.2	43	730	55%	8.3	43
最上	96	7%	6.6	39	37	66%	2.5	55	59	4%	4.1	37
置賜	121	9%	3.3	34	0	0%	0	42	121	9%	3.3	36
庄内	424	31%	8.4	41	0	0%	0	42	424	32%	8.4	43
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 6-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
山形県	1,493	0.9%	7.9	37	1,135	1.0%	6.0	43	359	0.6%	1.9	37
村山	673	45%	7.6	36	495	44%	5.6	41	177	49%	2.0	38
最上	103	7%	7.1	33	87	8%	6.0	43	16	4%	1.1	30
置賜	320	21%	8.6	40	245	22%	6.6	46	75	21%	2.0	38
庄内	399	27%	7.9	37	307	27%	6.1	44	91	25%	1.8	36
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 6-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
山形県	16,039	1.1%	84	43	14,641	1.1%	77	48	1,398	0.6%	7.4	39
村山	7,010	44%	80	38	6,549	45%	74	45	461	33%	5.2	35
最上	1,140	7%	78	37	1,043	7%	72	43	97	7%	6.7	37
置賜	3,240	20%	87	45	2,948	20%	79	50	292	21%	7.9	40
庄内	4,649	29%	93	50	4,102	28%	82	52	547	39%	10.9	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 6-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
山形県	8,893	0.7%	47	42	4,012	0.7%	21	41	7,420	0.7%	39	38
村山	3,892	44%	44	41	2,084	52%	24	43	3,103	42%	35	36
最上	348	4%	24	35	204	5%	14	36	513	7%	35	36
置賜	1,203	14%	32	38	906	23%	24	43	1,429	19%	38	37
庄内	3,450	39%	69	48	818	20%	16	37	2,375	32%	47	41
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 6-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
山形県		1,216,181	1,123,891	-8%	1,015,910	-16%	2%	-1%	1%
村山	地方都市型	577,160	551,524	-4%	517,219	-10%	5%	2%	8%
最上	過疎地域型	90,740	77,895	-14%	65,057	-28%	-5%	-7%	-12%
置賜	地方都市型	238,788	214,975	-10%	188,265	-21%	-2%	-5%	-6%
庄内	地方都市型	309,493	279,497	-10%	245,369	-21%	1%	-4%	-3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

6.山形県(2019年版)

資_図表 6-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
山形県	70	5.8	46	68	6.1	49	-2	-3%
村山	35	6.1	47	33	6.0	48	-2	-6%
最上	6	6.6	49	5	6.4	50	-1	-17%
置賜	13	5.4	46	15	7.0	51	2	15%
庄内	16	5.2	45	15	5.4	47	-1	-6%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 6-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
山形県	920	76	50	919	82	51	-1	0%
村山	458	79	52	489	89	54	31	7%
最上	56	62	43	51	65	42	-5	-9%
置賜	157	66	45	151	70	45	-6	-4%
庄内	249	80	52	228	82	51	-21	-8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 6-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
山形県	2,431	200	49	2,463	219	47	32	1%
村山	1,429	248	54	1,480	268	53	51	4%
最上	121	133	41	99	127	37	-22	-18%
置賜	361	151	43	372	173	42	11	3%
庄内	520	168	45	512	183	43	-8	-2%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 6-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
山形県	16,768	138	49	14,989	133	51	-1,779	-11%
村山	8,695	151	52	8,031	146	53	-664	-8%
最上	1,248	138	49	1,063	136	51	-185	-15%
置賜	2,679	112	45	2,571	120	48	-108	-4%
庄内	4,146	134	49	3,324	119	48	-822	-20%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 6-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
山形県	11,124	91	53	9,320	83	52	-1,804	-16%
村山	5,474	95	54	4,897	89	55	-577	-11%
最上	923	102	56	789	101	59	-134	-15%
置賜	1,962	82	49	1,742	81	52	-220	-11%
庄内	2,765	89	52	1,892	68	46	-873	-32%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 6-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

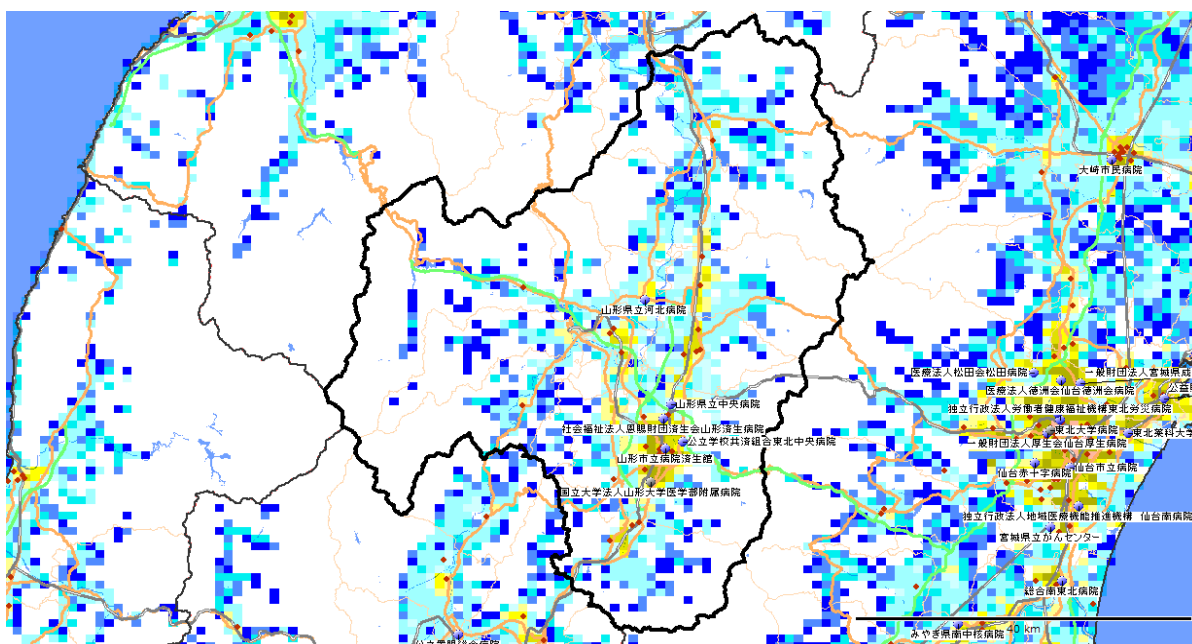
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
山形県	1,977	13	39	2,140	11	42	163	8%
村山	926	13	39	880	10	41	-46	-5%
最上	116	9	37	92	6	38	-24	-21%
置賜	343	11	38	390	10	41	47	14%
庄内	592	14	40	778	15	46	186	31%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

6-1. むらやま 村山医療圏

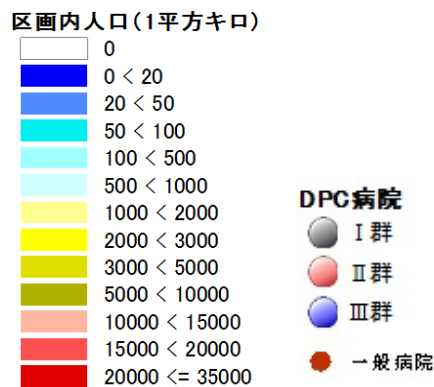
構成市区町村	山形市	寒河江市	上山市	村山市
	天童市	東根市	尾花沢市	山辺町
	中山町	河北町	西川町	朝日町
	大江町	大石田町		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(村山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 村山(山形市)は、総人口約552千人(2015年)、面積2,619km²、人口密度は211人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 村山の総人口は2025年に517千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に447千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の88千人が、2025年にかけて103千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には111千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 村山の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値56)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 村山の一人当たり急性期医療密度指数は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。村山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山形県立中央病院(Ⅱ群・救命)、山形大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の山形市立病院済生館(Ⅲ群)、500例以上の山形済生病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 村山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,118人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,498床(偏差値51)、高齢者住宅等が2,620床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,549人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム48、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、461人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(村山医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

村山医療圏の総人口は、2005年577,160人が、2015年に551,524人と4%減少し、2025年の人口が517,219人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

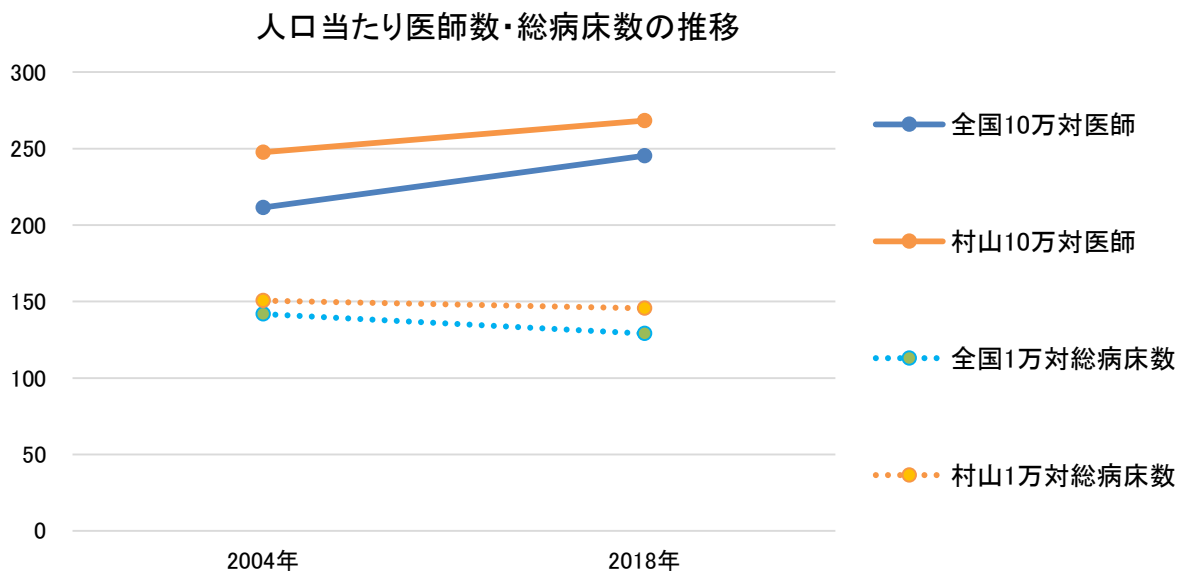
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2018年に33(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が458(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に489(人口10万人当たり89診療所(全国平均80)偏差値54)と、31診療所が増加した。

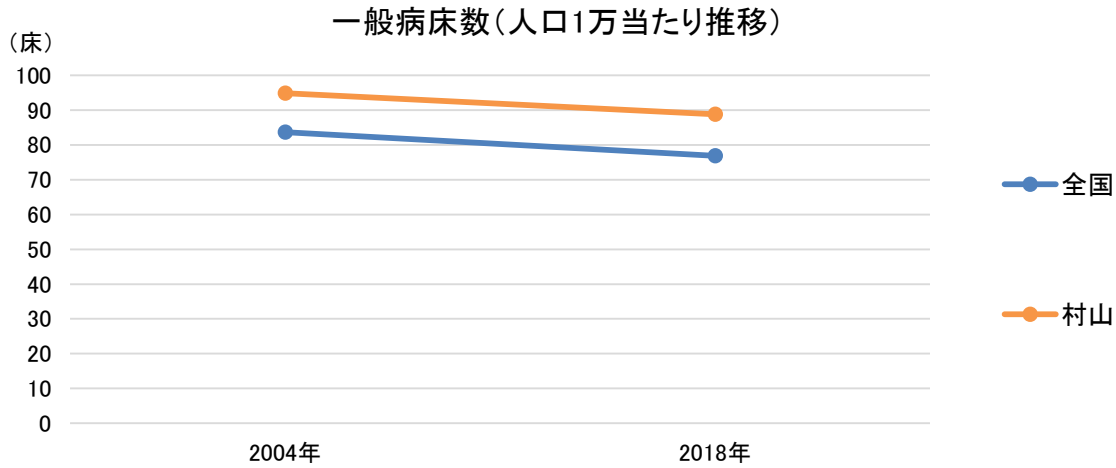
2004年の総病床数が8,695床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に8,031床(人口1万人当たり146(全国平均129)偏差値53)と、664床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,429人(人口10万人当たり248人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2018年に1,480人(人口10万人当たり268人(全国平均245人)偏差値53)と、51人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



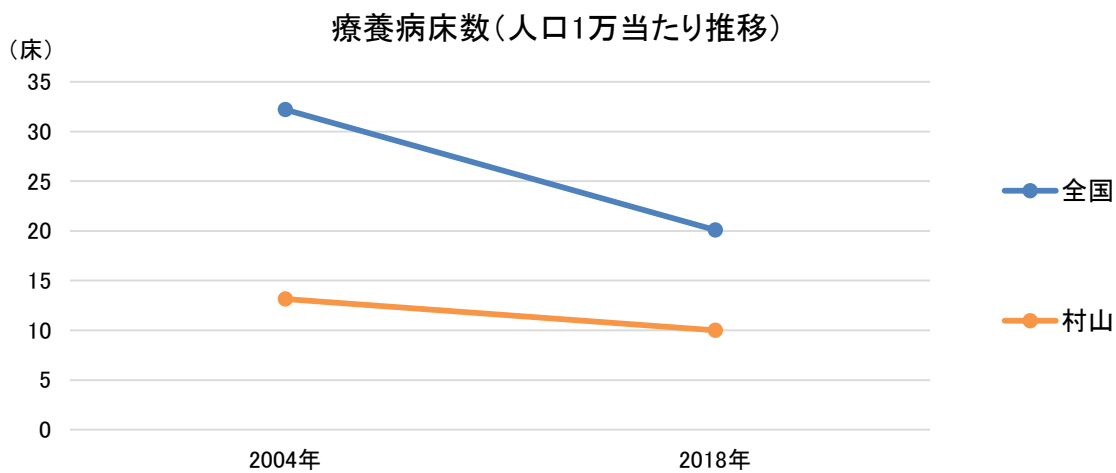
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,474床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に4,897床(人口1万人当たり89(全国平均77)偏差値55)と、577床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



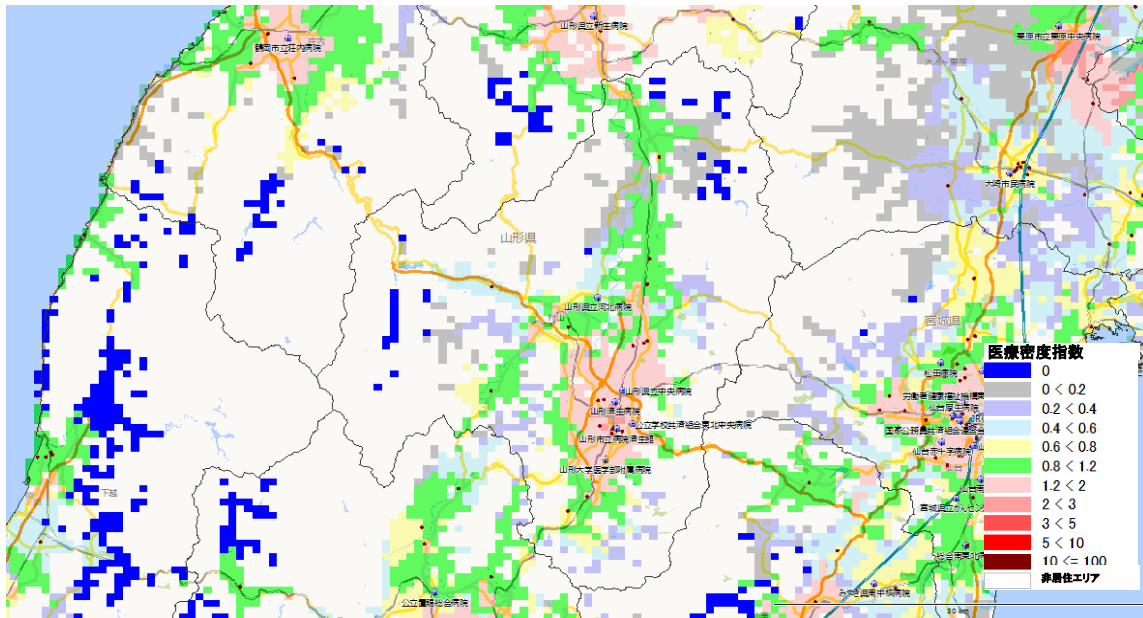
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が926床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に880床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、46床の減少、率にして5%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



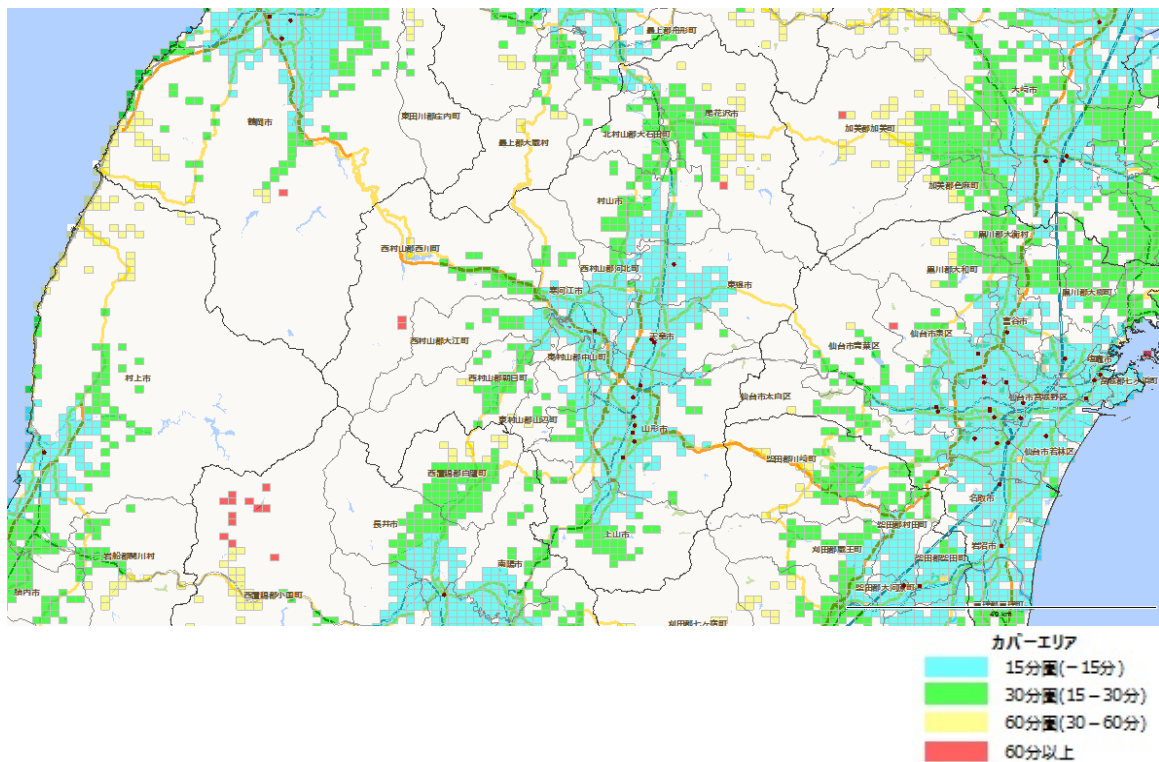
(村山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表6-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

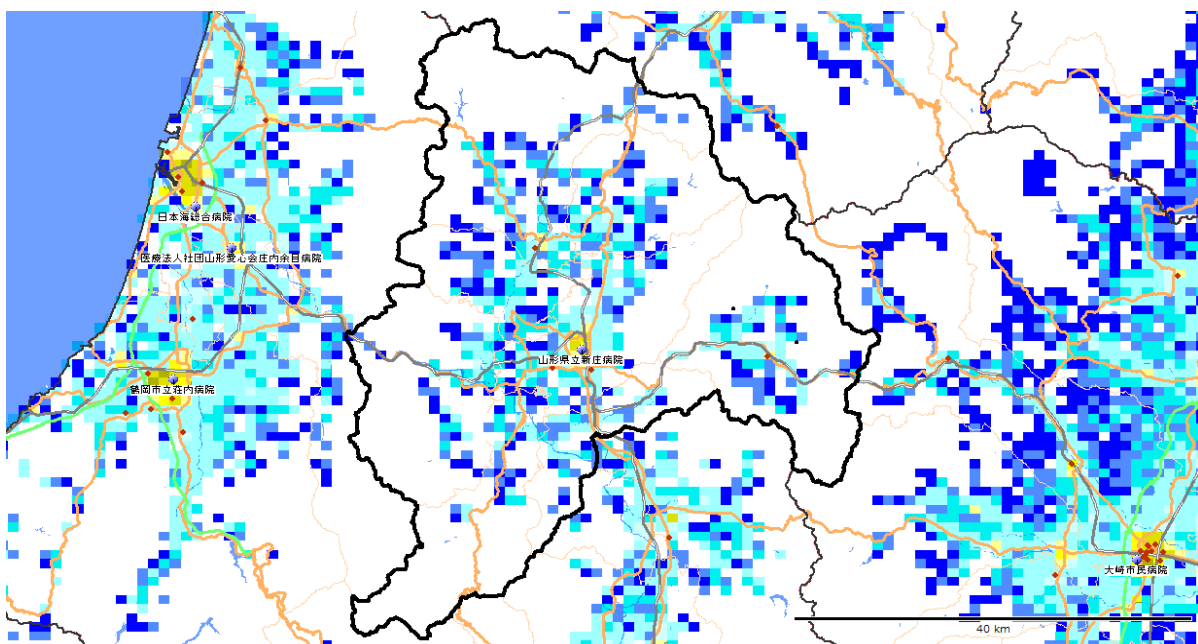


6-2. もがみ 最上医療圏

構成市区町村 [新庄市](#) [金山町](#) [最上町](#) [舟形町](#)
[真室川町](#) [大蔵村](#) [鮭川村](#) [戸沢村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(最上医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 最上(新庄市)は、総人口約78千人(2015年)、面積1,803km²、人口密度は43人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 最上の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて14千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年には15千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 最上の一人当たり医療費(国保)は332千円(偏差値45)、介護給付費は290千円(偏差値60)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 最上の一人当たり急性期医療密度指数は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。最上には、年間全身麻酔件数が500例以上の山形県立新庄病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 最上の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,557人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,319床(偏差値74)、高齢者住宅等が238床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,043人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム77、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム37、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(最上医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

最上医療圏の総人口は、2005年90,740人が、2015年に77,895人と14%減少し、2025年の人口が65,057人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

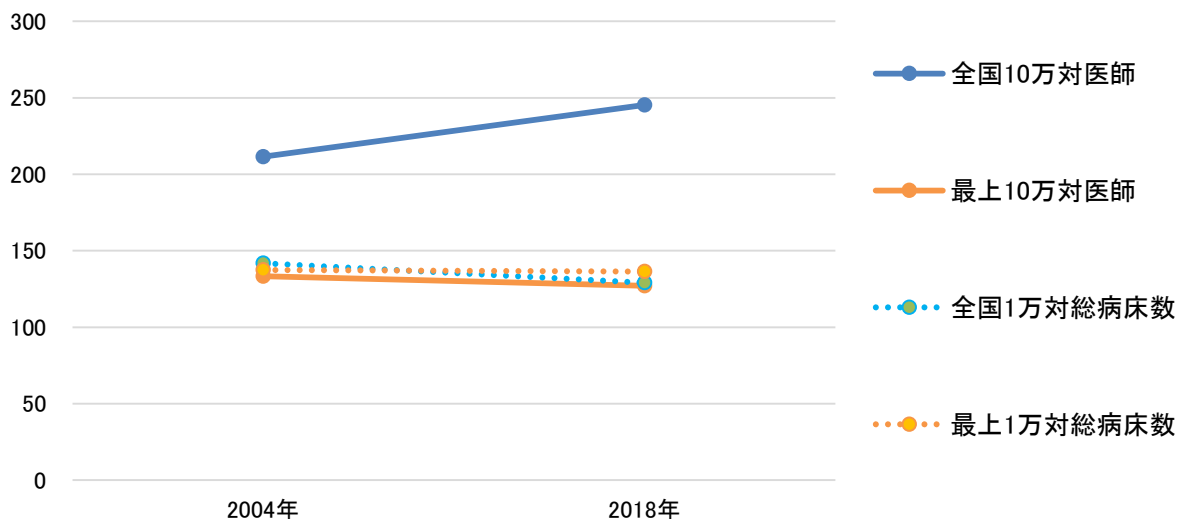
2004年の病院数が6(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2018年に5(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が56(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に51(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,248床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に1,063床(人口1万人当たり136(全国平均129)偏差値51)と、185床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

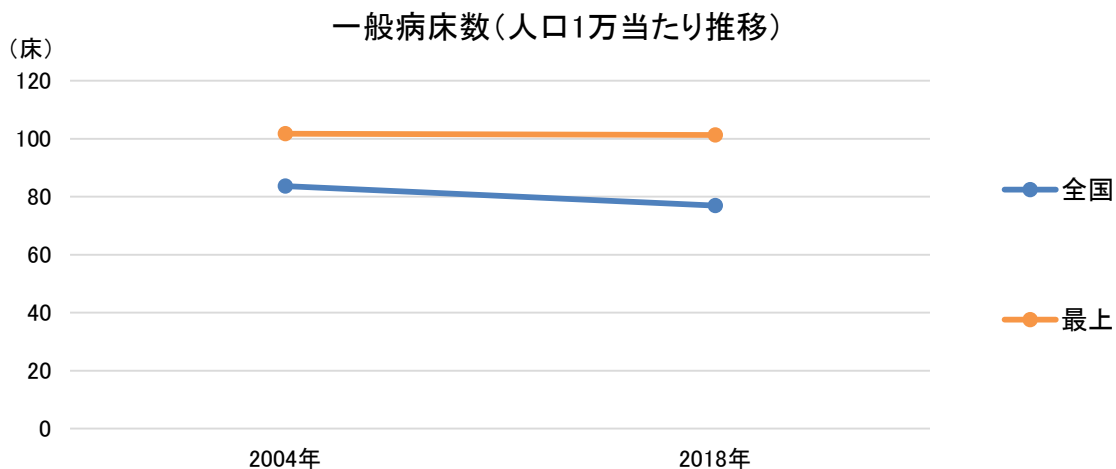
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が121人(人口10万人当たり133人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2018年に99人(人口10万人当たり127人(全国平均245人)偏差値37)と、22人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



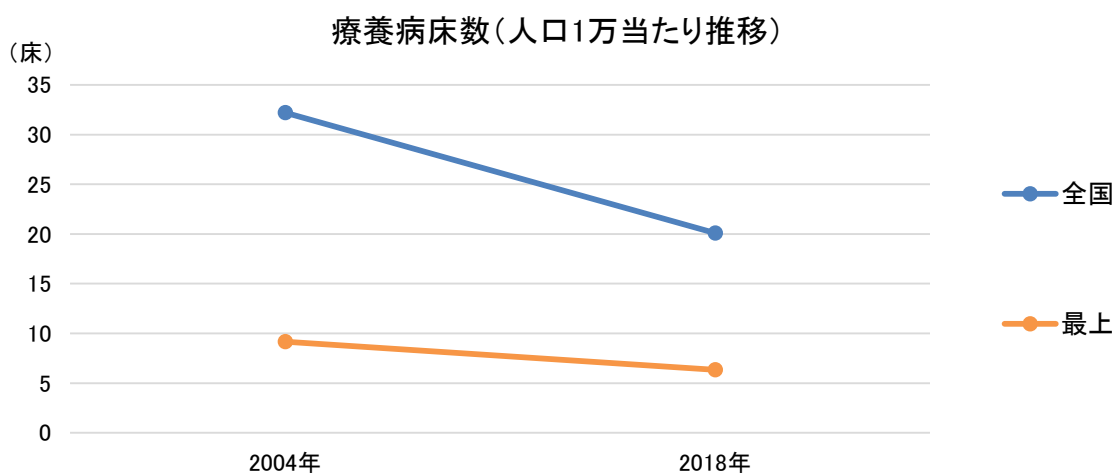
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が923床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値56)であったが、2018年に789床(人口1万人当たり101(全国平均77)偏差値59)と、134床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



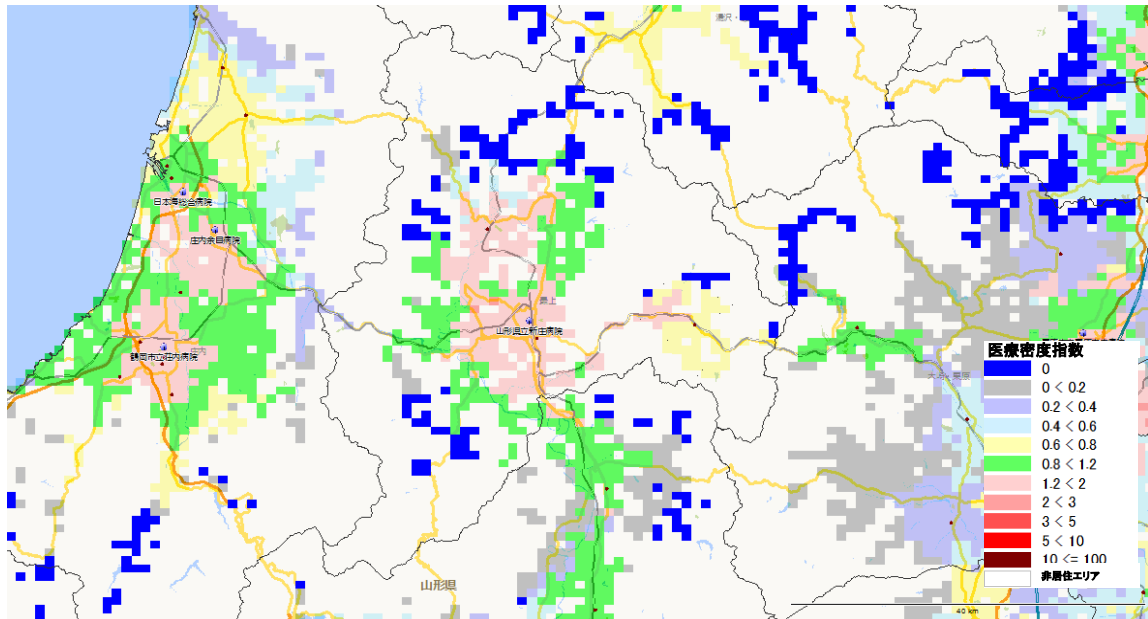
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が116床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均32)偏差値37)であったが、2018年に92床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均20)偏差値38)と、24床の減少、率にして21%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



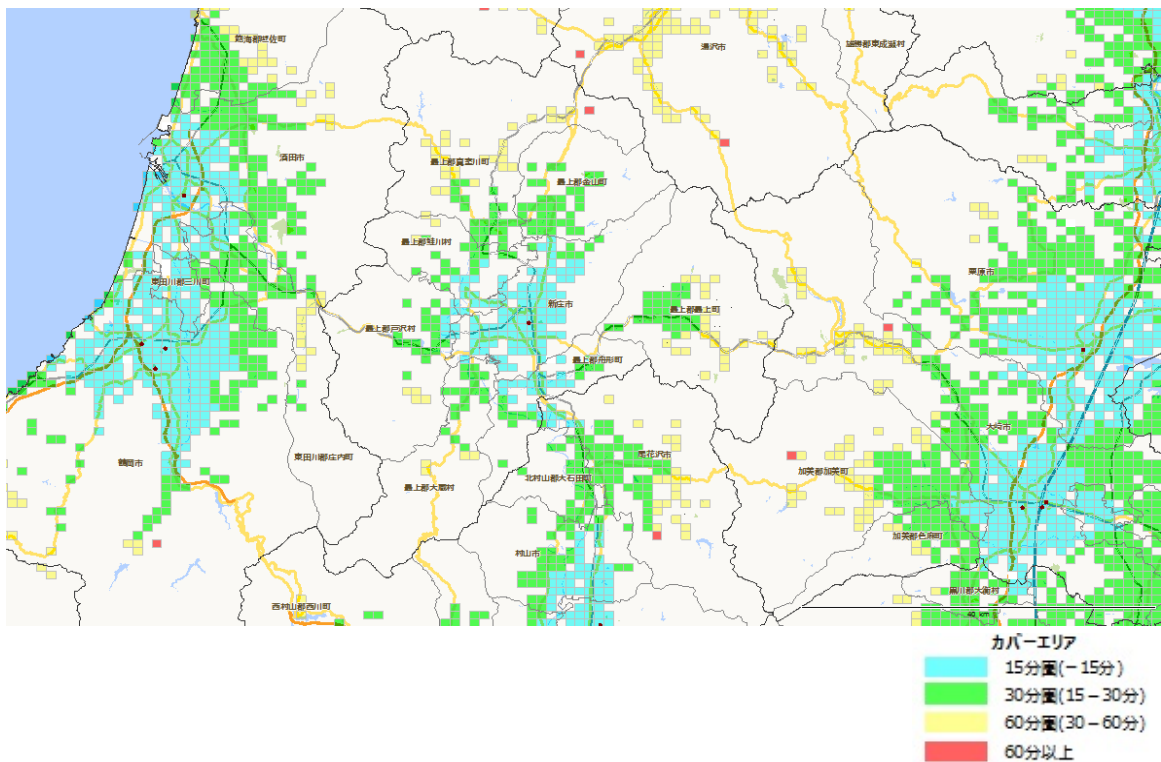
(最上医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表6-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

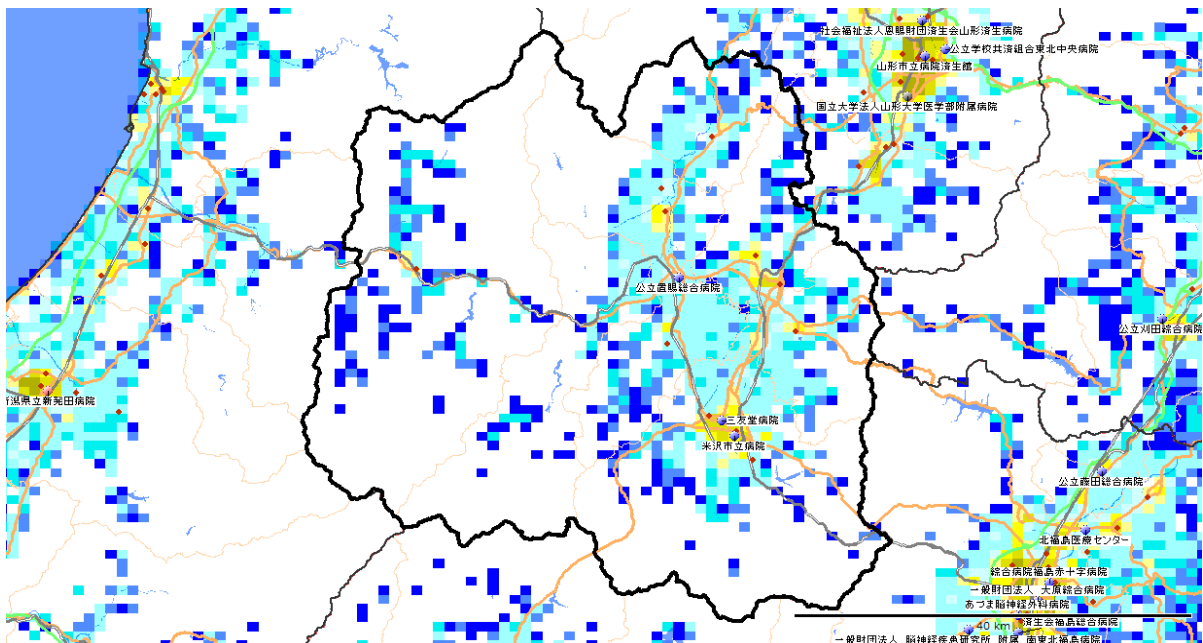


6-3. おきたま 置賜医療圏

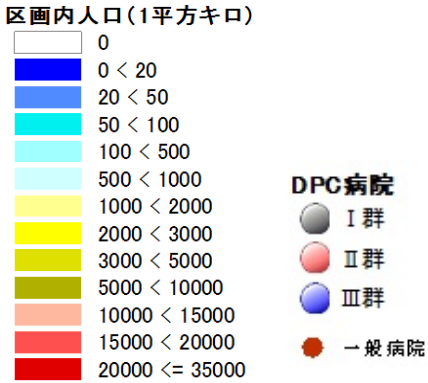
構成市区町村 [米沢市](#) [長井市](#) [南陽市](#) [高島町](#)
[川西町](#) [小国町](#) [白鷹町](#) [飯豊町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(置賜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 置賜(米沢市)は、総人口約215千人(2015年)、面積2,495km²、人口密度は86人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 置賜の総人口は2025年に188千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に147千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて39千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には39千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 置賜の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値57)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 置賜の一人当たり急性期医療密度指数は1.21、一人当たり慢性期医療密度指数は0.67で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。置賜には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立置賜総合病院(Ⅲ群・救命)、米沢市立病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 置賜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,413人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,502床(偏差値55)、高齢者住宅等が911床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,948人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム54、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、292人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(置賜医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

置賜医療圏の総人口は、2005年238,788人が、2015年に214,975人と10%減少し、2025年の人口が188,265人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

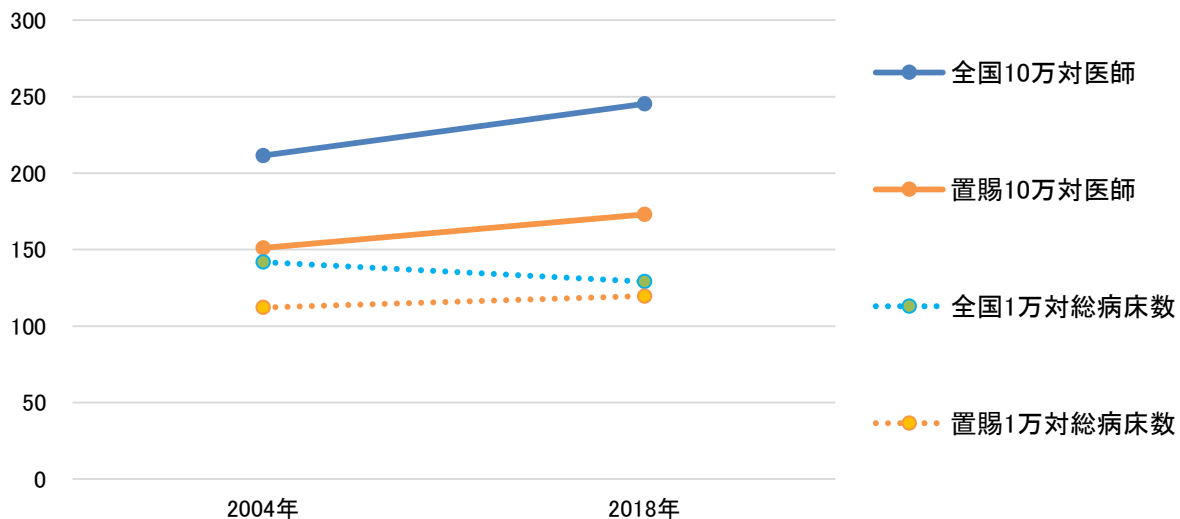
2004年の病院数が13(人口10万人当たり5.4病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に15(人口10万人当たり7病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が157(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に151(人口10万人当たり70診療所(全国平均80)偏差値45)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,679床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2018年に2,571床(人口1万人当たり120(全国平均129)偏差値48)と、108床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

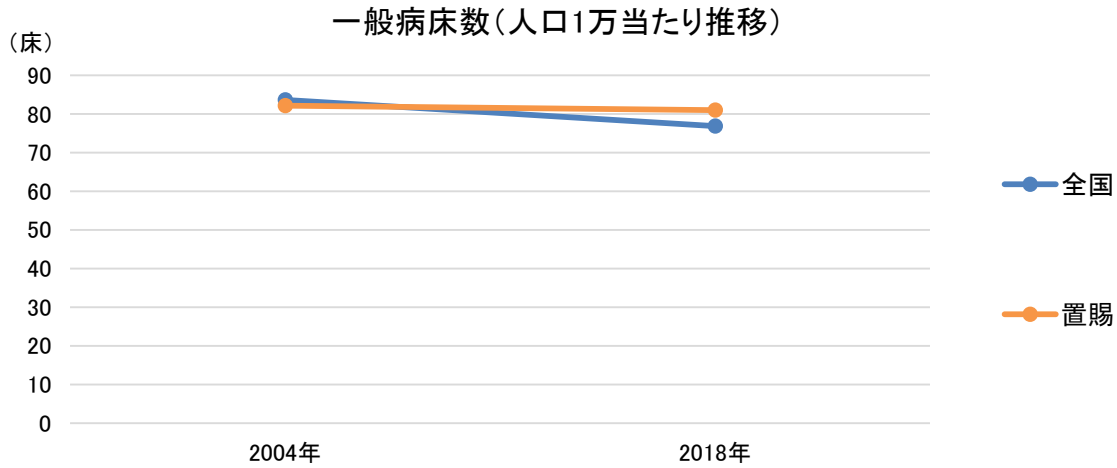
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が361人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に372人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、11人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



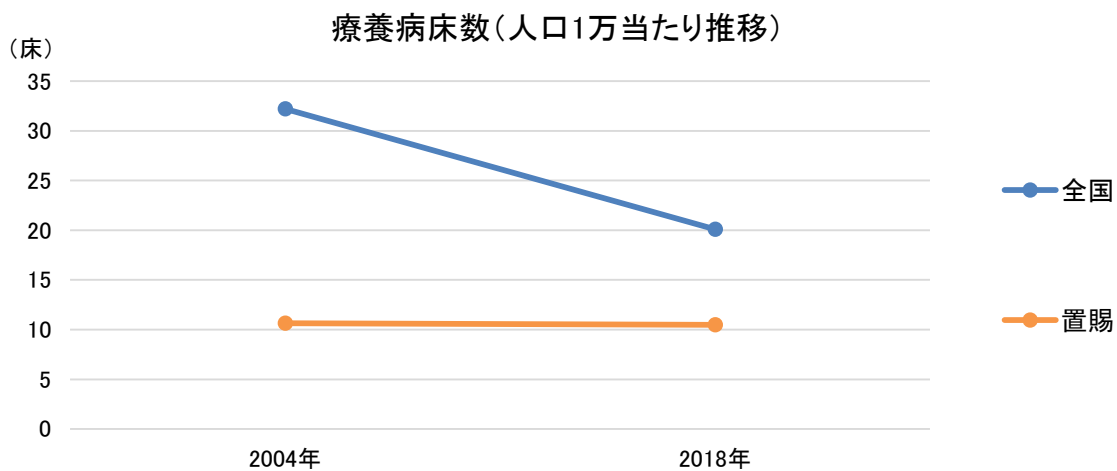
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,962床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に1,742床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、220床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



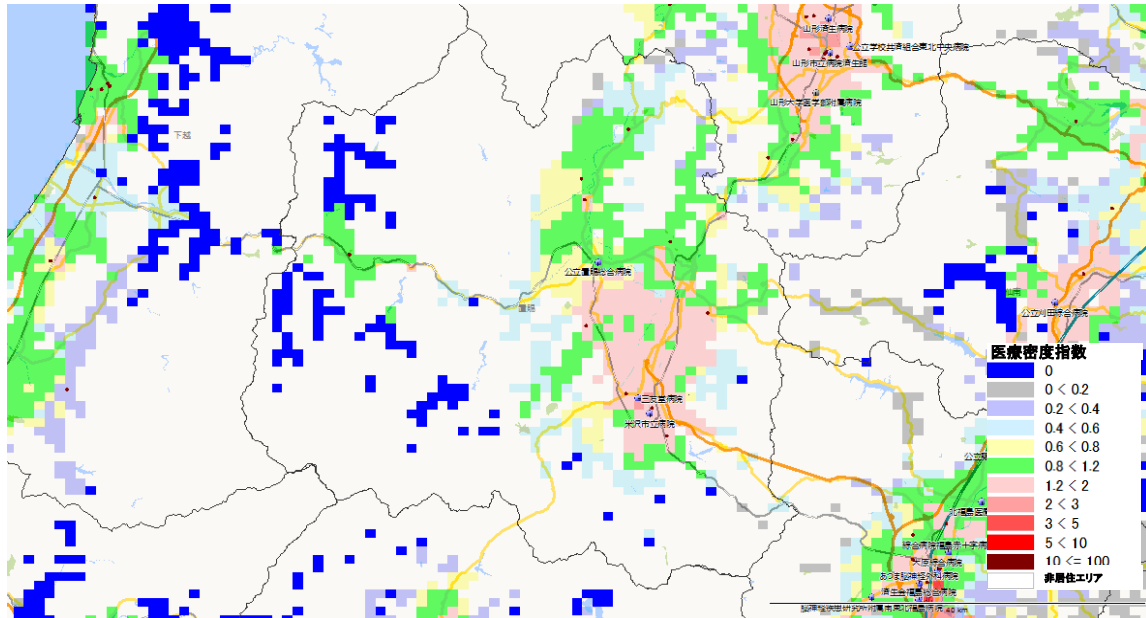
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が343床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2018年に390床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、47床の増加、率にして14%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



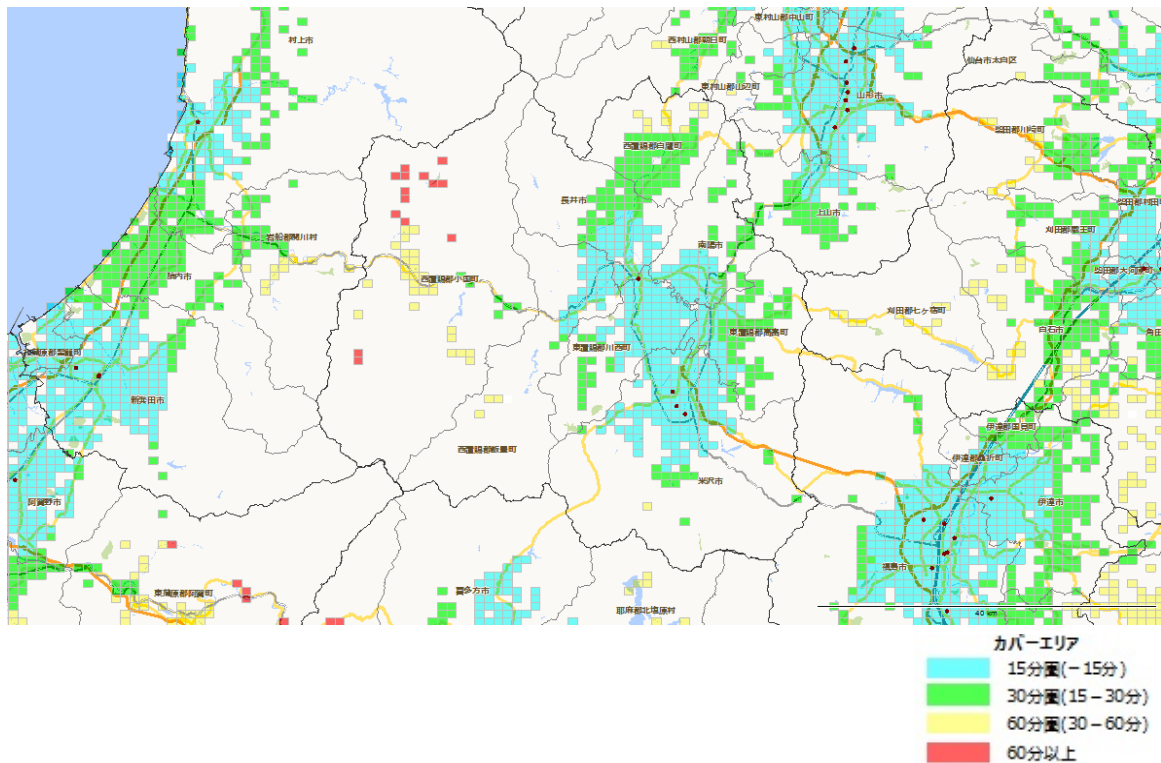
(置賜医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表6-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

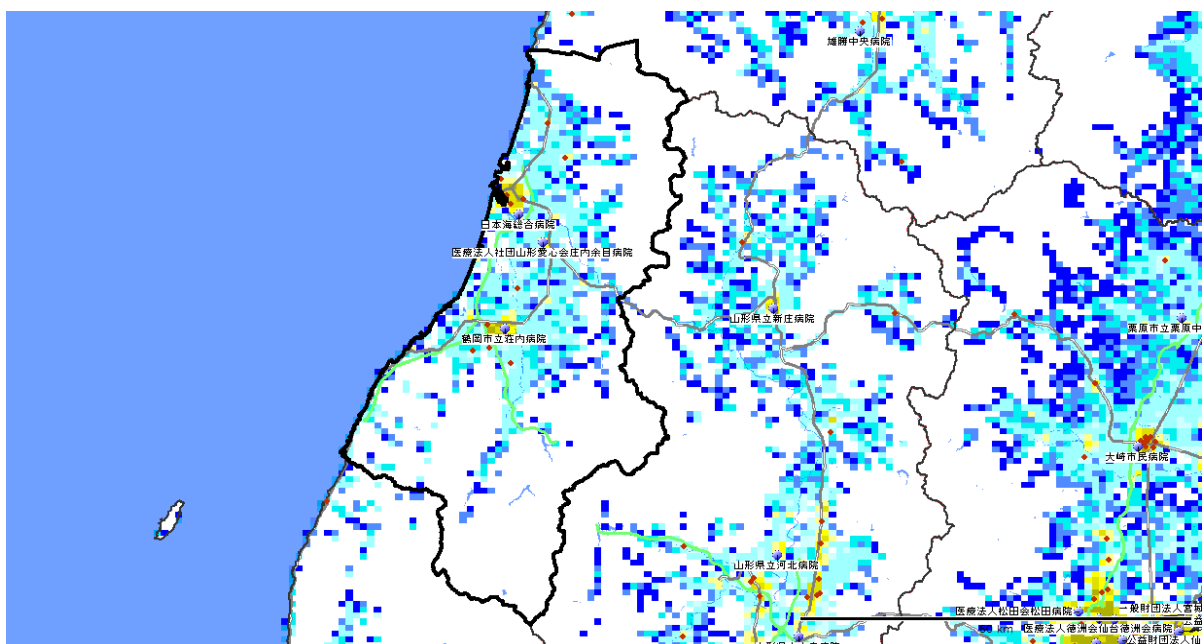


6-4. しょうない 庄内医療圏

構成市区町村 [鶴岡市](#) [酒田市](#) [三川町](#) [庄内町](#)
[遊佐町](#)

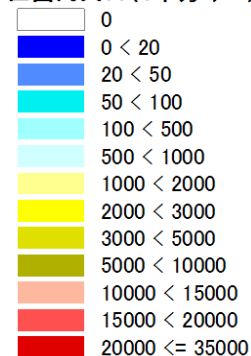
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(庄内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 庄内(鶴岡市)は、総人口約279千人(2015年)、面積2,405km²、人口密度は116人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 庄内の総人口は2025年に245千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に192千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には53千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 庄内の一人当たり医療費(国保)は366千円(偏差値52)、介護給付費は310千円(偏差値66)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 庄内の一人当たり急性期医療密度指数は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。庄内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本海総合病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の鶴岡市立庄内病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 庄内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,324人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,133床(偏差値51)、高齢者住宅等が1,191床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,102人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム37、軽費ホーム48、グループホーム51、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、547人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(庄内医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

庄内医療圏の総人口は、2005年309,493人が、2015年に279,497人と10%減少し、2025年の人口が245,369人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

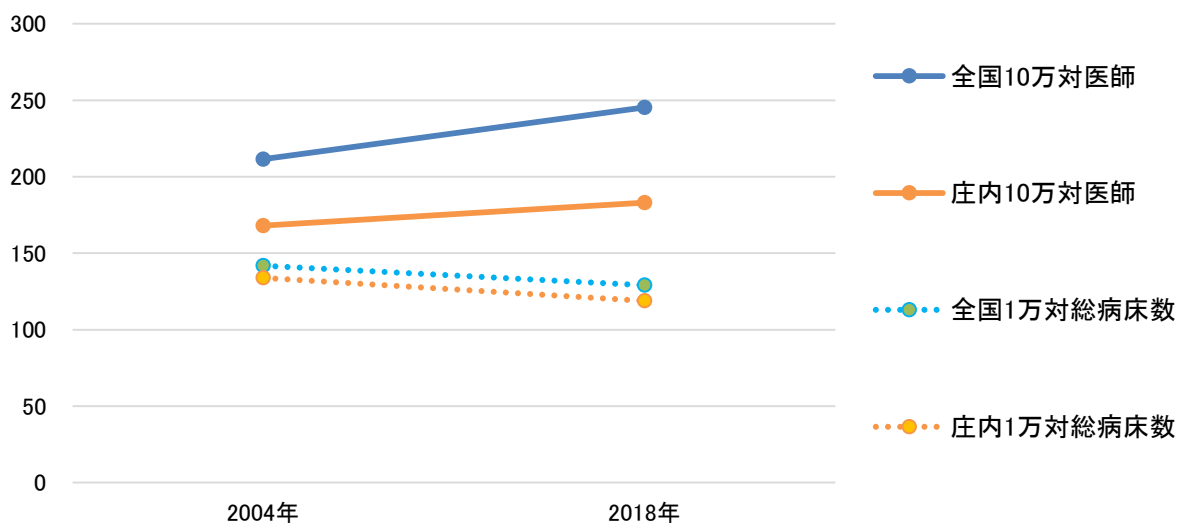
2004年の病院数が16(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に15(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が249(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に228(人口10万人当たり82診療所(全国平均80)偏差値51)と、21診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,146床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に3,324床(人口1万人当たり119(全国平均129)偏差値48)と、822床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

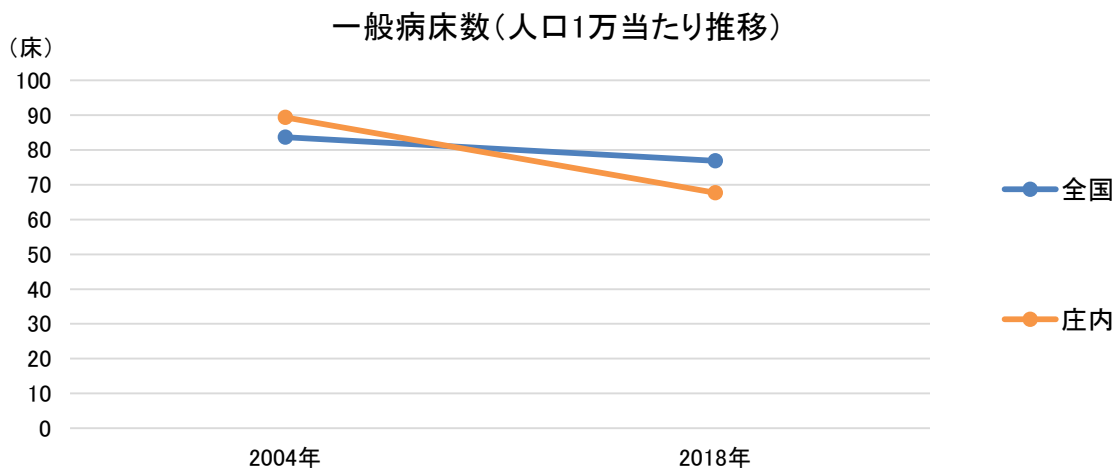
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が520人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に512人(人口10万人当たり183人(全国平均245人)偏差値43)と、8人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



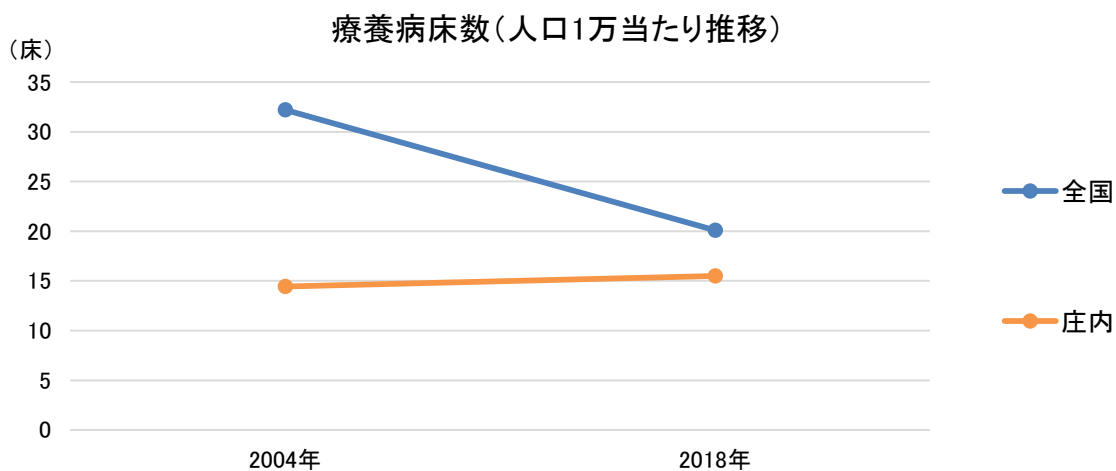
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,765床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に1,892床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、873床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



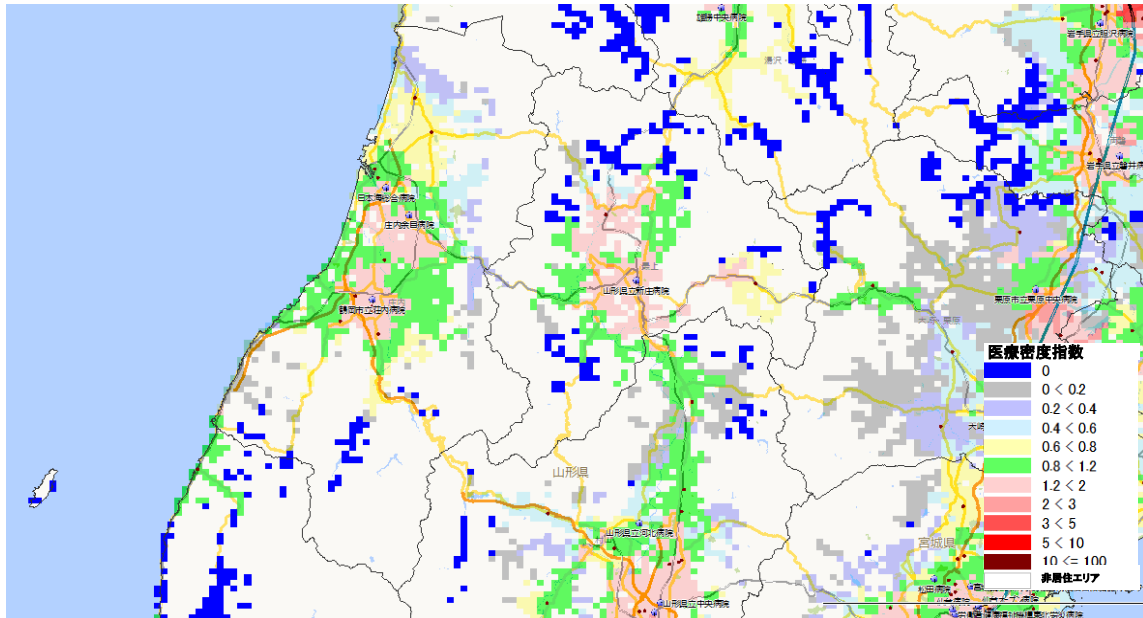
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が592床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に778床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値46)と、186床の増加、率にして31%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



(庄内医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表6-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

